

私立大学図書館協会  
2004年度第1回東西合同役員会議事要録

日 時 2004年9月16日(木) 午後2時00分～午後3時40分  
場 所 青山学院大学総合研究所ビル3階第10会議室  
出席者 別紙出席者名簿参照

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介があった。議事の進行は、会長校紙屋敦之早稲田大学図書館長が担当した。

1. 報告事項(2004年4月～8月)

1) 協会会務報告

会長校早稲田大学(中元)より配付資料(p.4～6)に基づき報告があった。

2) 東地区部会会務報告

東地区部会長校法政大学(阿久津)より配付資料(p.7～11)に基づき報告があった。

3) 西地区部会会務報告

西地区部会長校南山大学(栗山)より配付資料(p.12～17)に基づき報告があった。

4) 委員会報告

(1) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長(村山)より配付資料(p.18～24)に基づき報告があった。

(2) ホームページ委員会報告

ホームページ委員会委員長(三井)より配付資料(p.25～26)に基づき報告があった。

5) 協会関連事項報告

(1) 国公立大学図書館協力委員会報告

会長校早稲田大学(中元)より配付資料(p.27～32)に基づき報告があった。報告の中で、8月31日に開催された「国公立大学図書館協力委員会常任幹事会と国立情報学研究所との業務連絡会」において、NACSIS-CAT/ILLの品質管理等の課題解決に向けた検討プロジェクトを立ち上げることとなり、協会からプロジェクト構成員として明治大学(東地区)、同志社大学(西地区)から、またコーディネータとして慶應義塾大学からそれぞれ1名の職員の推薦をお願いしたことが説明された。また、関連して国立情報学研究所(NII)によるILL文献複写等料金相殺サービスについて、平成16年度第1四半期の実績について報告があった。

(2) 日本図書館協会大学図書館部会報告

会長校早稲田大学(中元)より配付資料(p.33～34)に基づき報告があった。

6) 2004 年役員校、委員会および協会関連団体等委員

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p. 35～36）に基づき報告があった。

7) 行事・会議予定

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p. 37）に基づき報告があった。

8) その他

総会・研究大会次期会場校の松山大学図書館長（横山）より配付資料（p. 38）に基づき、第 6 回（2005 年度）総会・研究大会が 2005 年 8 月 25、26 日に開催されることが報告された。

また、会長校早稲田大学（中元）より国立情報学研究所（NII）による国際学術情報流通基盤整備事業（SPARC/JAPAN）について報告があり、平成 16 年度参画英文論文誌募集で 15 機関 20 タイトルの応募があり、9 月 22 日の評議会で参画英文論文誌が決定される予定であるとの説明があった。

## 2. 協議事項

1) 2003 年度一般会計・特別会計決算報告書（案）について

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p. 40～41）に基づき提案があり、了承された。提案の概要は以下のとおり。

一般会計「収入の部」の「会費」における収入増は、新規加盟校 17 校分が加算されたことによる。一般会計「支出の部」における「運営費」の「事務費」の支出超過は、(1) 全加盟館宛文書発送回数の増加、(2) 寄付金収入増による振込み手数料負担増などが主な要因となっている。「役員校活動費」については、当面、推移をみて必要があれば見直したい。「総会・研究大会費」については、会場校の法政大学による運営簡素化の努力により 785,010 円の戻し入れがあった。法政大学から収支報告（p. 43）が提出されているのでご参照いただきたい。また、この件に関しては、次の会則の改正（案）についての協議事項で扱う予定である。

特別会計「海外集合研修参加費」の収入増は、当初 5 人と想定していた参加者が 8 名と増えたことによる。同様に、支出の部における「海外集合研修補助金」の支出増は、当初 5 人と想定していた参加者が 8 名と増えたことによる。「予備費」の支出については、受入国側の不測の事態によるものである。続いて、監事校・中京大学（中河原）より、監事校・文教大学とともに行った監査の結果について「監査報告書」（p. 42）のとおり報告があった。

2) 会則第 8 条（総会）の改正（案）について

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p. 44）に基づき提案があり、了承された。

3) 2004 年度事業計画（案）について

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p. 45）に基づき提案があり、了承された。

4) 2004 年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p. 46, 47）に基づき提案があり、了承された。

提案の概要は以下のとおり。

一般会計「収入の部」における「会費」は2004年3月31日現在の加盟校数462校を基数として算出している。一般会計「支出の部」における「事務費」および「印刷費」は、2003年度実績を基礎とした。「役員校活動費」については、当面これを維持して様子を見たい。「総会・研究大会費」については、会則第8条（総会）改正（案）の趣旨にしたがい、「総会・研究大会開催支援費」と名称変更し、「総会・研究大会特別会計」を新たに設けることとした（p.48）。明日の総会での会則変更承認後に正規の「総会・研究大会特別会計」予算として扱うこととしたい。また、今年度は隔年で発行する加盟館名簿を発行する年にあたり、「名簿刊行費」を計上した。「国際図書館協力事業支援費」については、事業規模の拡大、活性化を考慮し、50万円の増額を行った。研究助成特別会計「支出の部」においては、すでに確定した研究助成（2件）を計上した。国際図書館協力基金特別会計「収入の部」における「基金」については2003年度寄付金収入の実績をふまえて増額とした。また「支出の部」における「海外派遣研修費」では、研修派遣期間を前年の6週間から8週間に延長したため参加費が増えたことによる。

#### 5) 新規加盟（案）について

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p.49）に基づき提案があり、了承された。

#### 6) 提出議題について

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p.50）に基づき以下の提案があり、了承された。提案の概要は以下のとおり。

今回の提出議題は、2003年度協会賞受賞審査に関する質問であり、総会では、会務報告における協会賞審査・研究助成委員会報告の中で経緯を詳しく説明することで対応することとしたい。

#### 7) 永年勤続表彰制度検討委員会（仮称）の設置について

会長校早稲田大学（中元）より配付資料（p.51）に基づき提案があり、了承された。提案の概要は以下のとおり。

昨年8月の東西合同役員会において永年勤続者表彰制度のあり方に関して問題提起があったことをうけ、役員会を中心に懇談を重ねてきた。2004年度には、臨時常任幹事会を5月と7月に開催し精力的に意見交換をすすめた。また、6月に開催された東地区・西地区両部会総会では、役員会における意見交換を紹介しながら加盟館の意見聴取をすすめた。常任幹事会としては、同制度の単なる廃止といったことではなく、協会の事業、私立大学図書館全体の活性化につながる改革をめざすべきであると考えているに至った。おおむね1年間をめどに具体的な改革の内容について標記委員会において結論を得たいと考える。

### 3. 懇談事項

#### 1) 第65回(2004年度)総会・研究大会について

第65回（2004年度）総会・研究大会会場校・青山学院大学手塚図書部長より、翌日から開催される総会・研究大会についての案内があった。

以上